

おまえざき 市議会だより

第19号

2009.1.2.3月

平成21年5月発行

2月 議会定例会

平成21年度一般会計173・6億円の 予算などが審議される



撮影地：御前崎市民プール「ぶるる」

御前崎市議会2月定例会が2月25日から3月18日までの22日間の会期で開催されました。平成21年度御前崎市一般会計予算のほか、各会計予算、条例制定、一部事務組合規約の変更など全部で59議案が審議され、可決されました。また、空席となっていた副市長の人事案件に同意しました。議案に対する質疑に12名、一般質問には10名が登壇して、市政全般に渡って活発な議論を行いました。

行財政改革特別委員会設置する

御前崎市は平成17年度より行政改革に取り組み、すでに5年目を迎えています。この間、国・地方を問わず厳しい財政事情の中で、少子高齢化社会の進行と共に荒廃農地の増加や医師不足問題など御前崎市を取り巻く環境も大きく変化しています。また、世界的な金融危機に端を発した景気後退で日本経済も急速な悪化が進み、中小・小規模企業の経営を直撃しています。こうしたことから市税の減収や原子力発電所1、2号機の廃炉問題など、御前崎市にとっては厳しい財政状況が予想されています。また、高度・多様化する市民の行政ニーズに的確に対応するためには効率的な財政運営と質の高い行政サービスの提供が必要であります。

積極的な行財政改革の推進は極めて重要な課題であり、今こそ行財政改革の必要性を再認識し、目的達成に向けて、行政・議会・市民が一体となり鋭意努力していく事が不可欠であります。以上のような経過を踏まえ市議会として2月定例会において行財政改革特別委員会設置を全会一致で決議し、調査・研究を進め、市に対して適時積極的に提言を行ってまいります。



議長 阿南 澄男 柳澤 重夫 後藤 憲志
委員長 杉浦 謙二 副委員長 西島 昌和
若杉 泰彦 増田 雅伸



積極的な行財政改革の推進は極めて重要な課題であり、今こそ行財政改革の必要性を再認識し、目的達成に向けて、行政・議会・市民が一体となり鋭意努力していく事が不可欠であります。以上のような経過を踏まえ市議会として2月定例会において行財政改革特別委員会設置を全会一致で決議し、調査・研究を進め、市に対して適時積極的に提言を行ってまいります。